

### Ⅲ キャリア教育の目標とは

キャリア教育は、キャリア発達を促すことを目指す教育活動であるため、キャリア教育の定義自体が「キャリア教育の目標」となります。

小学校におけるキャリア教育の目標の考え方について確認してみましょう。

#### (1) 小学校6年間を見通した目標を設定すること

- キャリア教育は、全教育活動の中で6年間を通して計画的に推進していくものです。
- 一人一人の発達に応じて、人、社会、自然、文化とかかわる体験活動を、ていねいに設定していくことが大切です。
- 学校生活などで役割を果たすことを積み重ねながら、道徳との関連を図るなど、計画的に「自分の生き方」を考えさせます。

#### (2) キャリア発達課題を踏まえた目標を設定すること

- キャリア教育の目標を設定する際に、「小学校・中学校・高等学校におけるキャリア発達段階及びキャリア発達課題（例）」を参考にし、系統性を踏まえることが大切です。

#### ■ 小学校・中学校・高等学校におけるキャリア発達段階及びキャリア発達課題（例）

	小学校	中学校	高等学校	
就学前	進路の探索・選択にかかる 基盤形成の時期	現実的探索と 暫定的選択の時期	現実的探索・試行と 社会的移行準備の時期	大学・ 専門学校・ 社会人
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己及び他者への積極的 関心の形成・発展</li> <li>身の回りの仕事や環境へ の関心・意欲の向上</li> <li>夢や希望、憧れる自己の イメージの獲得</li> <li>勤労を重んじ目標に向か って努力する態度の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>肯定的自己理解と自己 有用感の獲得</li> <li>興味・関心等に基づく 勤労感・職業観の形成</li> <li>進路計画の立案と暫定 的選択</li> <li>生き方や進路に関する 現実的探索</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己理解の深化と自己 受容</li> <li>選択基準としての勤労 感、職業観の確立</li> <li>将来設計の立案と社会 的移行の準備</li> <li>進路の現実吟味と試行 的参加</li> </ul>	

小学校におけるキャリア発達段階は「進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期」であり、4つのキャリア発達課題が示されています。この例示を参考に、各学校の児童や地域の実態に応じて目標を設定することが大切です。

なお、小学校における学年ごとのキャリア発達課題（例）は、次のとおりです。

#### ■ 小学校におけるキャリア発達課題（例）

第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 小学校生活に適應する。</li> <li>② 身の回りの事象への関心 を高める。</li> <li>③ 自分の好きなことを見つ けて、のびのびと活動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 友だちと協力して活動する 中でかわりを深める。</li> <li>② 自分の持ち味を發揮し、役 割を自覚する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自分の役割や責任を果た し、役立つ喜びを体得する。</li> <li>② 集団の中で自己を生かす。</li> <li>③ 社会と自己のかわりか ら、自らの夢や希望をふくら ませる。</li> </ul>